



園庭の木々の葉も赤や黄色に色づき、「秋」を感じさせてくれます。園庭に落ちた葉っぱを集めてままごと遊びに使う子、たくさんの落ち葉をつかんで空に向かって投げて遊ぶ子など、秋ならではの自然でたっぷり楽しんでます。さて、先月は運動会がありました。当日の子ども達はとても緊張していた様子でしたが、練習以上によく頑張っていました。みんなで心をひとつにする姿、最後まで諦めずに取り組もうとする姿にとっても感動しました。

今月は、金華山登山を予定しています。先日、年長職員で金華山の下見に行ってきました。山を登るには背筋を伸ばして歩くといいと聞いたので、初めは“最後まで背筋を伸ばして登ろう”と張り切っていましたが、険しい山道を登っていくと次第に疲れから前のめりになってしまいました。途中で休憩をしていると、横を通り過ぎる年配の方々が笑顔で「おはよう」と挨拶をするではありませんか。その元気な姿を見て、私達も“よし頑張ろう”と思いました。金華山登山に向けて子ども達と1時間位のコースを数回歩き、当日を迎えたいと思っています。



小学生になるための20の階段

友達のいい所を見つけよう

- ① 困っている子がいたら助けよう
- ② 「ありがとう」を言葉で伝えよう



様々な積み木などを使って友達と一緒に作る姿が多く見られるようになってきました。友達が作っているものを見て、「これすごいね」「私も一緒に作っていい？」と話し協力して作っています。また、積み木や机上遊びのものが落ちて散らばってしまったときには、一緒に拾ってあげる姿が見られるようになってきました。そんな友達のいい所を保育教諭だけでなく、みんなで見つけ伝え合っていきたいと思います。そして、助けてもらった時には「ありがとう」の言葉を言える大切さも伝えたいと思います。

③ 相手の気持ちを考えよう

友達と遊んでいる時に強い口調で言っているわけではなくても、周りの友達は「怒られて嫌だった」と感じる事がよくあります。自分の思いを言う時につい口調が強くなってしまいうようです。どうしたら友達が嫌な気持ちにならないのか伝え方を一緒に考えています。



<お願いします>

- *ハンカチの無いお子さんが手を拭けずに困っています。毎日ハンカチを持たせて下さい。
- *朝夕の気温が下がってきています。体調を崩さないように気を付けましょう。帰宅後の手洗いうがい、食事における栄養バランスなどに留意して下さい。
- *毎日本体で身体を動かす時間を作っています。スカートでは、動きにくいのでズボンなど動きやすい服装で登園して下さい。

<子どもが安心して元気に生活できるように>

保育教諭が子どもにすること>

- *手洗いうがいを丁寧に行うことが風邪など病気の予防につながることを知らせ、自分で意識して行えるようにします。
- *戸外で元気よく遊び、走る・跳ぶ等を通して、柔軟性や持久力が身に付くように働きかけます。また、様々な運動遊びに挑戦し、達成感が味わえるようにします。
- *食事のマナーを守り、時間に見通しを持ちながらも楽しんで食べるようにします。
- *一人ひとりが自分の思いを友達に分かるように話したり、友達の思いに気付いたりしている姿を大切に受け止め、互いに思いを伝え合う事が出来るように援助します。
- *一人ひとりの発想や工夫を認め、友達の考えや色々な表現方法があることに気付けるような言葉をかけます。
- *風の冷たさ、空や空気の変化、木の葉の色づきなど子どもの感じたこと、気付いたことを受け止め、子ども同士が伝え合ったり出来るようにします。

<子どもの遊びや教育的活動>

- *手洗い、うがいの習慣の大切さを知り、風邪予防を意識して行います。
- *走る、跳ぶ、投げるなどの運動遊び(サッカー、縄跳び、ドッジボール)に取り組み、身体を十分に動かして遊びます。
- *様々な素材に触れたり、新しい表現方法を知る中で興味を持って絵画制作に取り組みます。
- *風の冷たさや紅葉の美しさ、落ち葉の様子など季節の移り変わりを感じます。
- *感じたことや考えた事を相手に分かるように伝えます。



<ピカピカのお団子目指して作っています>

日中、過ごしやすい日が続き、子ども達はお団子作りに夢中です。園庭へ出かける時「お団子作りしよ」「昨日のお団子、まだあるかな」「サラ粉いっぱい作ろうよ」と友達と誘い合いながら出かけています。サラ粉作りでは細かい粉だけになるように何度もふるいにかけて、手で触りながら「まだザラザラするよ」「もっとサラサラにするにはふるいかけよう」と相談をしながら作っています。団子作りでは、以前は水の加減や力加減が上手く出来ず壊れてしまうことがありましたが、最初に握る時はしっかり握り形を整えてからサラ粉をつけています。サラ粉をつけて団子がツルツルし始めたらずすってピカピカにしています。友達と「もう少しサラ粉つけた方がいいよ」「わあ、〇〇ちゃんのお団子ピカピカだね」とお互いのを見せ合いながら作っていました。そんな姿を見て赤組や桃組の子も側に来て「ねえ、お団子作って」「私もやりたい」と仲間に入ってきます。「いいよ」「作ってあげるね」「ここに座って良いよ」と優しく声をかける素敵な子どもたちです。お団子やサラ粉もその日のうちに完成をしなくても「また、明日続きしよう」と取っておき、次の日も次の日も作るのを楽しみにし、遊びも継続しながら楽しんでいきます。

